

佐賀女子短期大学「子育て支援センター」便り 令和5年3月号

でんでんむし

温かくない冬ごもいしていた生き物が目覚める3月です

3月は旧暦で「弥生（やよい）」とも言います。弥（いや）は「いよいよ、ますます」、生（おい）は「生き茂る」を意味し、もともとは草木が芽吹くことを弥生（いやおい）と言っていたものが転じたそうです。耳を澄ますと、小鳥たちが木から木へ飛び回りながらチュンチュンと元気な声を響かせています。また、木々のつぼみも次第に大きくなり、芽吹き瞬間を今か今かと待っているようです。いよいよ春の訪れですね。

子育てのポイント アドバイス 1歳から2歳児の世界

1歳頃になると、赤ちゃんはつかまり立ちから一人歩きなど、動きも活発になり、また、言葉もでてきます。子どもは歩けるようになると、自分の意思で好きなところに行き、好きなことをするようになります。しかし、家の中でも危険がいっぱい。常に目を離さないようにしましょう。さらに、言葉が出始めると、親はつい言葉だけによるコミュニケーションをとりがちですが、親子のコミュニケーションの基本は、心と体のふれあいです。子どもとしっかり向き合い、子どもの気持ちをつかんでください。1歳から2歳にかけて、しつけが始まります。しつけは基本的な生活習慣を身につけさせることです。この頃の子どもの「自分でする」「ひとりでできた」という意識を上手に利用しながら、親子ともに失敗や挫折の経験を重ねつつ、ゆとりを持って、じっくり、ゆっくりと進めたいものですね。

～ 子育て支援センター「でんでんむしの2月のイベントから」～

第7回ママカフェ 2日(木)

今回は6組12名の方に参加していただきました。地区による保育園の入園状況の違いに声が弾み、いろいろと情報が飛び交っていました。これからも、気楽に話ができる雰囲気大切にしながら進めていきます。

第3弾

特別講演会 9日(木)

テーマ:「子育てを楽しむコツ」

講師:別府大学短期大学部初等教育科 准教授 菅原航平 先生

幼児の日常生活と親の子育て意識の変容を、子育てを楽しむコツとしてお話していただきました。

- ①周囲に押し、子育てに協力してもらわないと楽しむ余裕をもつことは難しい
- ↓
- コツ1つ目 サポートしてもらえ環境を作る
- ②こうあらわねば、ここまでできていなければ強く思わない
- ↓
- コツ2つ目 ほとほとで、これでもんだと思う
- ③しっかり眠る 睡眠時間が長いと自分のことが好き
- ↓
- コツ3つ目 どうしても子どもが小さいと睡眠不足気味になるが、少しでも質を高める

文化祭 19日(日) テーマ:「イクメンについて考える」

講師:佐賀女子短期大学 准教授 松本 勇治 先生

男性の暮らし方・意識が変われば日本も変わる

パートナーとのコミュニケーションの大切さ 子育て⇒イクメン

初めての試みとして、でんでんむしを利用されるパパにアンケートをとり、育児における悩みや大変さ、知りたい子育て情報等を踏まえ、お話していただきました。

でんでんクッキング & ハンドメイド

23日(木)に佐賀女子高校の”キャラバン隊”による「クッキング&ハンドメイド」を行いました。親子でクッキー作りやくるみボタン作りに挑戦しました。高校生のサポートもあり利用者も安心して参加できました。

今月のメニュー

～3日(金) 「ひな人形手作りWeek」

8日 10:30～ 「赤ちゃん広場」

・演題:「赤ちゃん・子どもの救命講習」

・講師:多久消防署

9日 14:30～ 「食育相談会」

講師:佐賀女子短期大学 西原 由紀先生

※全ての講座、

イベントで託児あります。

16日 10:30～「子育て講演会」

・演題:「小学校から見える乳幼児期」

・講師:佐賀女子短期大学

脇山 英靖先生

21日 10:30～「お誕生日おめでとう」